



Olaf Ambrosさん
冷間圧造主任
baier & michels GmbH & Co. KG

ネジ転造加工工程 ダイス寿命5倍に増加！

締結部品メーカー baier & michels GmbH & Co.KG は、平ダイス式ネジ転造盤において、SK社最新プロセスモニター導入によりダイスの寿命を大幅に増加することに成功しました。
その成功の主な要因は、ダイブロック4点全ての調整ポイントでのローリング力を計測できるSKシステムとDMI（ダイマッティングケータ）機能の活用によりです。

“我々は、製品の品質を犠牲にすることなくこれほどのダイス寿命向上が実現できることなど想像していませんでした”、ウルトグループに属する同社冷間圧造主任で研究開発部門長であるOlaf Ambrosさんのお言葉です。
同社は、ネジ転造盤 Saspi GV2 用に最新計測技術を搭載した**SKプロセスモニター**を導入しました。同機械は、高価なダイスを使用するお客様仕様の特殊ネジを生産しています。

“当初、我々は金型寿命は最大でも30万個程だろうと予想していました。現在、1組のダイスで日常的に最大150万個生産しています、どれほど興奮しているか想像してみてください。” Olaf Ambrosさんが劇的な成果を説明してくれました。

良好なネジ切り品質のために、最小のダイス応力になるように機械をセットアップすることが重要です。**SKプロセスモニター**は、DMI（ダイマッティングケータ）やダイブロックの4調整点全ての応力曲線を記録できるパーツデータメモリ等の革新的な機能を提供します。同社技術者はこれらの機能を活用して同製品の成型プロセスを検討し、ダイセッティングを改善しました。

Olaf Ambrosさんは更に続けてくれました。
“金型寿命向上のためには良好なダイセッティングの再現性が最重要です。**SKプロセスモニター**は、たとえ使い込まれたダイであっても、いつでも最適なセッティングを可能にしてくれます。その成果は十分に投資に見合うものでした。そして、**SKプロセスモニター**を他装置にも横展開しました。”

お客様会社概要

baier & michels GmbH & Co. KGは、自動車業界のサプライヤーとして、エンジニアリングサポート、部品生産、物流ソリューションを提供しています。フルサービスパートナーとして、お客様に柔軟で革新的な締結ソリューションを提供しています。
締結部品のオンデマンドに応える豊富な在庫に加え、特殊仕様品に対しては各種冷間ヘッダー機により自社製造しております。

同社は1973年からウルトグループに属し、160名の従業員を擁します。フランクフルト近くのオーバーラムシュダット/ローバハ。



ネジ転造機での成果に満足：
Olaf Ambrosさん（右、baier & michels社）と Thomas Kopka（左、S+K社）